

新築分譲マンションにおける環境自主行動計画（概要）

— 低炭素社会に向け、事業者、購入者一体の取り組みを促進 —

1. 計画の基本的な考え方

事業者、購入されたお客様が、車の両輪として省エネ・省CO₂を進める。

2. 事業者側の取り組み（数値目標を設定）

(1) 性能目標

① 基本方針

「建設」段階から「運用」段階まで、環境性能が高いものを設計・企画する。

具体的には、「CASBEE—新築 2008 年版」の「ライフサイクルCO₂」が、標準的な「参照値（100%）」より環境性能が高いものを提供する。

② さらなる取り組み

◇ 「運用段階」の設計性能については、地域特性をふまえ、給湯設備や断熱、共用部設備の性能向上、新エネルギーの導入などに取り組む。

◇ 5年後を目途に、「CASBEE—新築 2008 年版」の「運用段階」の「参照値」より5%程度以上環境性能が高い水準を目指す。

◇ これよりさらに環境性能が高い物件の供給や、先進的な取り組みについても積極的に進める。

(2) 緑地の整備

緑被率の向上、緑と水のネットワーク構築などによるヒートアイランド抑制などに取り組む。

(3) 大規模・複合開発でのより一層の取り組み

再生可能エネルギーの活用などによる地域的な省CO₂に取り組む。

(4) マンションにおける3R（廃棄物の削減、再利用、再資源化）の推進

3. 購入されたお客様の住まい方（「見える化」の推進）

「住まいのエコガイド・マンション編（(財)省エネルギーセンター、(社)高層住宅管理業協会と共同作成）」を作成し、不動産協会会員企業の分譲マンションを購入される全てのお客様に配布する。

4. 既存マンションへの展開

(社)高層住宅管理業協会と連携し、「長期修繕計画案作成の手引き」の環境対応型への改訂（2009年度予定）に協力する。

以 上